

一日の時間は限られています 時間の使い方を工夫してみましょう

● 学習に取り組む時間帯を考えて、書き入れてみましょう。

(例) 帰ってからすぐに

夕食後に

朝食前に



● 学習やテレビ・ゲーム等の時間の使い方を工夫しましょう。

(例) 【平日 2学年】

	午前												午後												
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
睡 眠									下 校	自 由	学 習	夕 食	自 由	入 浴	自 由	入 浴	学 習	讀 書	睡 眠						
朝 食									校	由	學	食	由	浴	由	浴	習	書	眠						
平 日																									
休 日																									

子供の生活を確認してみましょう。

〔子供の様子〕

- 起きる時刻を決めていますか。
- 朝食をしっかり食べていますか。
- 寝る時刻を決めていますか。
- テレビやゲーム、インターネット等の時間を決めていますか。
- 子供が興味をもっていることを知っていますか。
- 読書をする習慣が身に付いていますか。
- 時間や場所を決めて学習していますか。



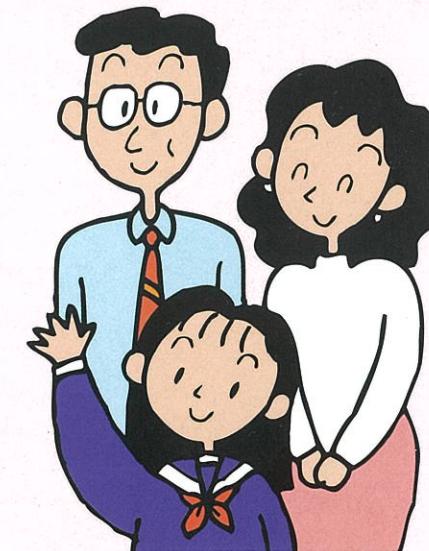
〔親の関わり方〕

- 家庭学習について声かけをしていますか。
- 携帯電話(スマホ等)を使用するときのルールを決めていますか。
- 努力している姿を応援していますか。
- 将来の夢や進路について話し合っていますか。

家庭学習のすすめ

子供たちの学力の向上を図ることは、学校の重要な役割です。一方、子供たちの「自ら学ぶ力」を伸ばすためには、家族の関わりが大切です。

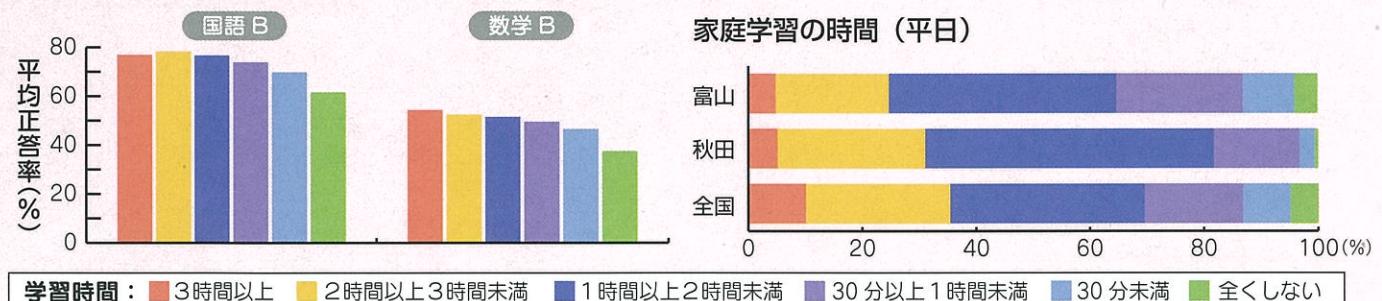
子供たちが一日の限られた時間を有効に使い、主体的に学ぶ態度を育み、知識の定着を図るとともに、いろいろな活動を通して知的好奇心を培い、夢や将来の目標をもつことができるよう、家庭学習を充実させましょう。



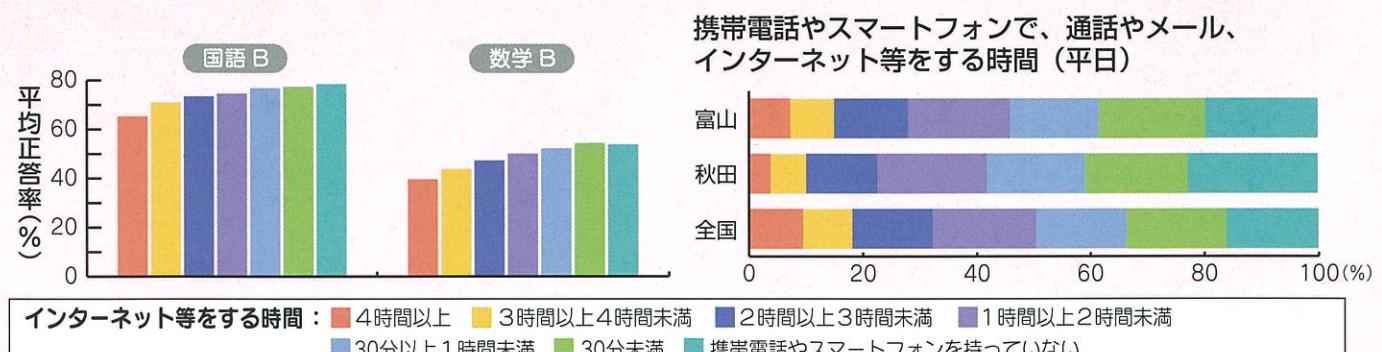
H29 全国学力・学習状況調査結果(中3)

○各教科には、それぞれ A 問題(主に知識に関する問題)と B 問題(主に活用に関する問題)があります。

家庭学習の時間によって、平均正答率に差がみられます。



携帯電話やスマートフォンで、通話やメール、インターネット等をする時間によって、平均正答率に差がみられます。



「自ら学ぶ力」を伸ばしましょう

～家庭での学習の充実を～

学習へのやる気を高める

- ・子供は、認められたり、受け入れられたりすると、やる気を起こします。
- ・子供ががんばっていることを、家族で応援しましょう。



こんな一聲を

- ・子供の学習している様子を見ながら「難しいことを勉強しているね」「内容をくわしく教えてね」と声をかける。
- ・失敗しても「失敗は成功のもと」と、気持ちを前向きに受け止めるようになります。



できるようになったことや努力していることを認めたり、ほめたりすることで学習意欲が高まります。

学習環境を整える

- ・テレビやゲーム、インターネット等の時間を決めて、睡眠時間を十分にとりましょう。
- ・自分に合った生活のリズムを整え、学習に集中できる時間帯をつくりましょう。



こんな一聲を

- ・「自分で決めたルールを守っているかな」と時々声をかけ、意識させる。
- ・自主的に勉強している姿を見たら「自分から進んで勉強を始めたことができたね」と声をかける。



子供が規則正しい生活を送れるように手助けすることが大切です。

将来の夢を育む

- ・将来の夢や目標があると、学習意欲が高まります。
- ・親子で社会問題を話題にするなど、社会との関わりについて、共に考えましょう。



こんな一聲を

- ・「中3の時に、進路決定で悩んだことがあったな」「目標をもつと頑張れたな」と自分の経験を語り、子供に夢や目標をもたせる。
- ・ニュース等の内容について話題にし、社会事象に関心をもたせる話をする。



自分の仕事や生きがいを語ることで、子供は自分の将来を考えていきます。

いろいろな活動で、子供の知的好奇心や学ぶ意欲を高めましょう

読書活動、地域の活動等いろいろな活動に親しむことで、物事への興味・関心や学ぶ意欲が高まります。

読書活動

- ・読書を通して情報収集能力を高める

地域の活動

- ・地域の一員としての自覚をもつ

博物館・美術館見学

- ・歴史や文化等に興味・関心をもつ

自然体験

- ・自然に対する興味・関心を高める

1学年 1時間以上

2学年 2時間以上

学習と部活動を両立した生活リズム

宿題

予習・復習

自主学習

- (例) 明日の授業で学習内容の理解が進むよう予習をする。
- ・理科の観察で疑問に思ったことを、図鑑やインターネットで調べてノートにまとめる。
- ・英単語や漢字を覚えるために、ノートに繰り返し書いて練習する。
- ・国語の熟語を理解するために、国語辞典で調べる。
- ・テストで正答できなかった問題を復習して、しっかり理解する。



3学年 3時間以上

進路決定に向けての総復習

宿題

予習・復習

自主学習

- ・1・2年の復習
- ・繰り返し学習

- (例) 数学の公式を活用して問題を解けるようにするため、教科書の例題や問題を繰り返し解く。
- ・英語の理解力・表現力を高めるために、辞書を用いて文を読んだり、書いたりする。
- ・苦手科目を克服するために、分からない問題を質問したり、勉強方法を相談したりする。

